

2025年11月14日

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

- 当組合は、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、「地域生産者が豊かさや安心・ぬくもりを実感できる地域社会」の実現に向け、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成と「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供を通じた豊かな生活づくりに貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
 - また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I」）も同時に公表いたします。
- (注) 共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（J A 共済連）が、共同で事業運営しております。

鹿児島きもつき農業協同組合

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注)、原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1～5本文および(注)】

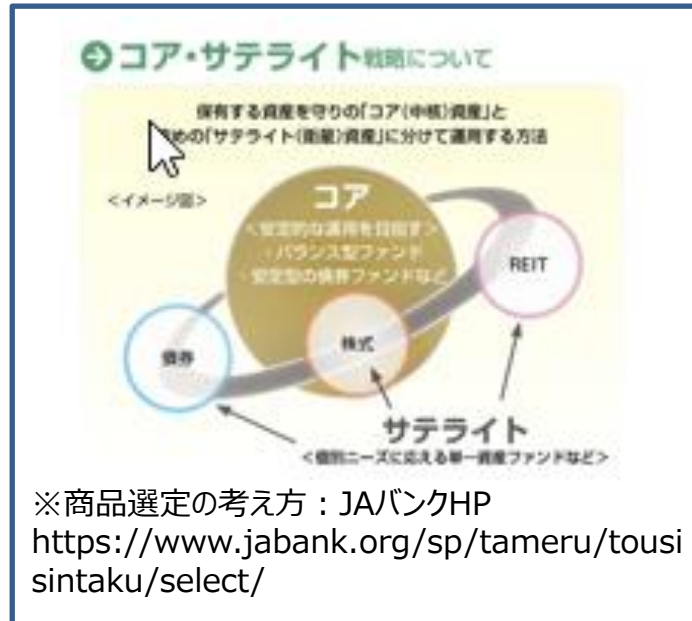
- ・ 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えできるものをJAバンクセレクトファンドとして提供しています。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- ・ JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。
- ・ なお、組合員・利用者の皆さまの最善の利益の実現につながる取組として、2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社との情報連携を開始予定です。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2025年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1	4
株式型	3	5
REIT型	1	2
バランス型	7	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>



I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則 2 本文および(注)、原則3(注)、
原則 6 本文および(注2、3)、補充原則1～5本文および(注)】

- 当組合は、生活や農業を取り巻く様々なリスクに備えられるよう、一人ひとりのニーズに応じた最良・最適な共済仕組み・サービスを提供しております。
- 当組合は市場リスクを有する共済仕組み（例：外貨建て共済）の提供は実施しておりません。

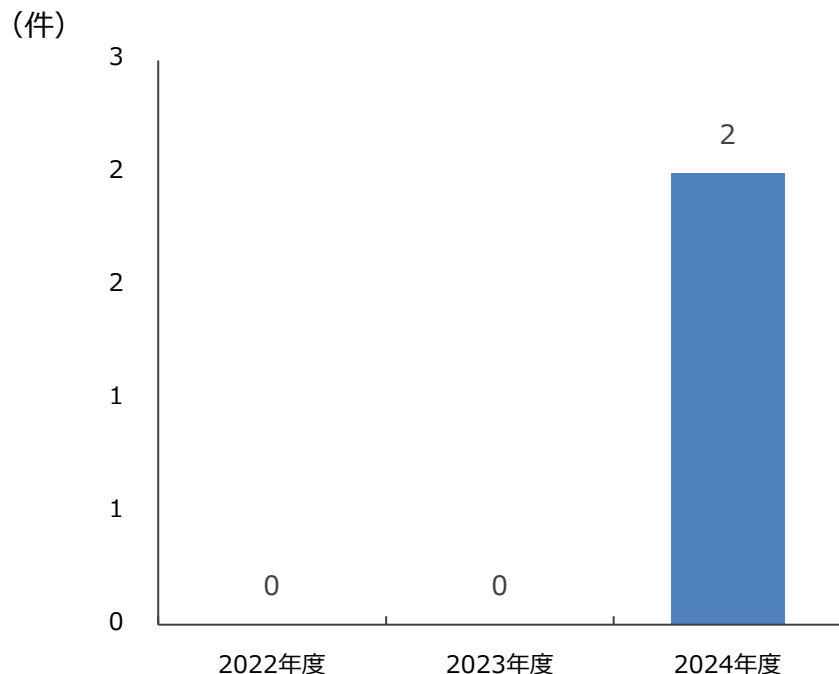
I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供①

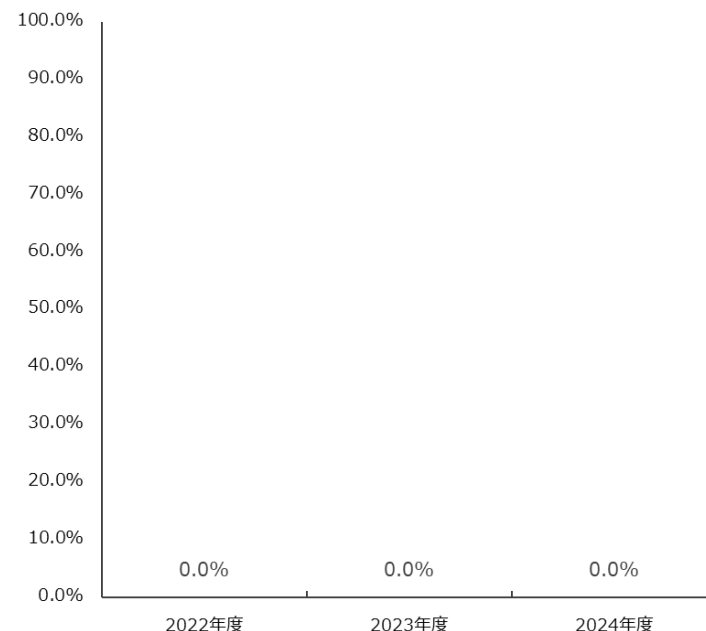
【原則2本文および(注)、原則4、原則5本文および(注1～5)、
原則6本文および(注1～7)】

- 組合員・利用者の皆様に安定的な運用成果をご享受いただくために、組合員・利用者の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、組合員等から「毎月分配型ファンド」の選択はなく、「投信つみたて」を2件ご契約いただいております。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



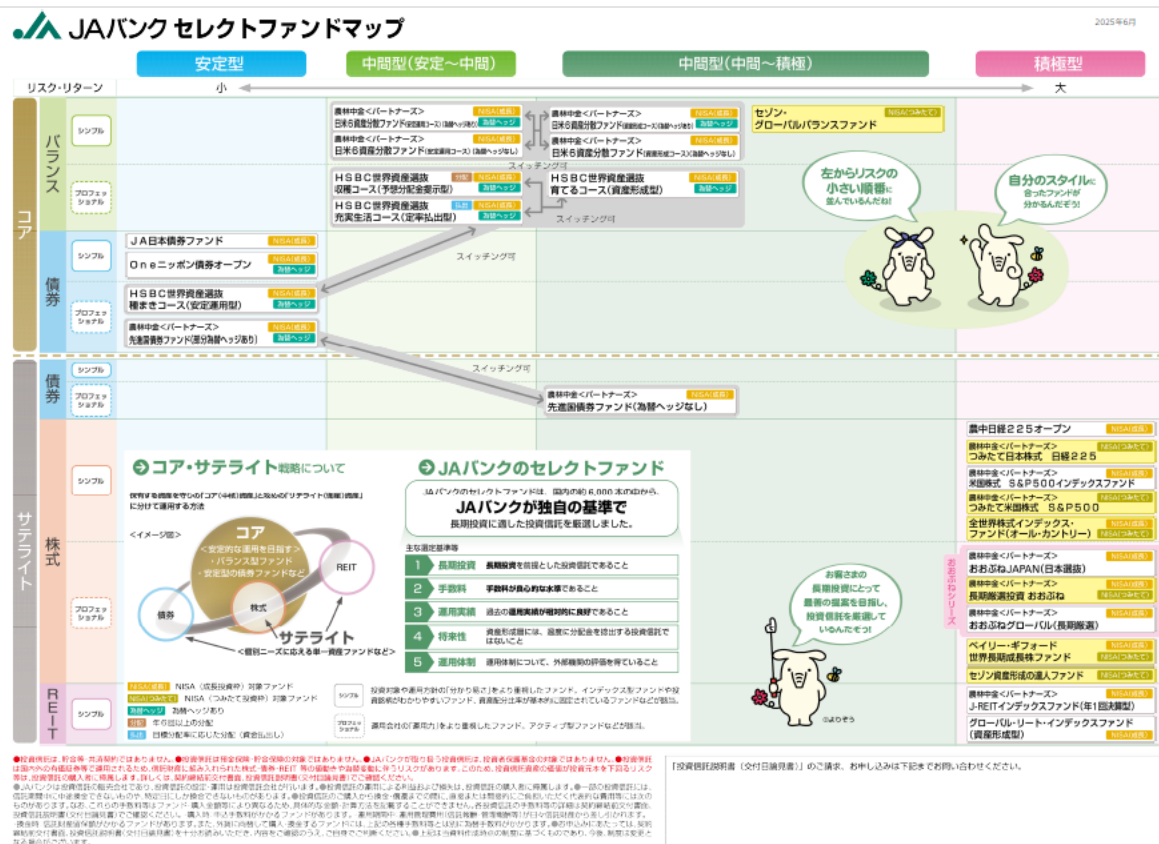
I. 取組状況

2 組合員利用者本位の提案と情報提供②

（１）信用の事業活動

【原則 2 本文および（注）、原則 4、原則 5 本文および（注 1～5）、
原則 6 本文および（注 1～7）】

- ・ 組合員・利用者の皆様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、J Aバンクセレクトファンドマップ、J Aバンクファンドマップ、重要情報シート等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。



I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

【原則2本文および（注）、原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

- 組合員・利用者へ、各種公的保険制度等の情報提供・ご提案を行う際は、一人ひとりのライフプランに応じた最良・最適な保障・サービスを分かりやすく提案します。
- 保障の加入にあたっては、組合員・利用者のご意向を的確に把握・確認したうえで、十分に保障内容をご理解・納得いただけるよう、分かりやすい重要事項説明（契約概要・注意喚起事項）を実施します。特にご高齢の組合員・利用者に対しては、より丁寧で分かりやすいご説明を行い、ご家族も含めて十分なお説明・ご納得いただけるよう、ご契約時にはご家族の同席等を徹底するなど、きめ細やかな対応を行います。
- 共済掛金の他に、保障の加入にあたって組合員・利用者にご負担いただく手数料はございません。
- 組合員・利用者からのご相談や、各種手続きの実施にあたっては、満足と安心の提供に心がけ、分かりやすいアフターフォローを実施します。

I. 取組状況

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および(注)】

- 組合員・利用者の皆さまの商品選定、保障提案にかかる情報提供にあたり、金融商品の販売・推奨や共済仕組みの提案・契約等において、組合員・利用者の皆さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」等を定め、本方針等に基づき適切に管理します。

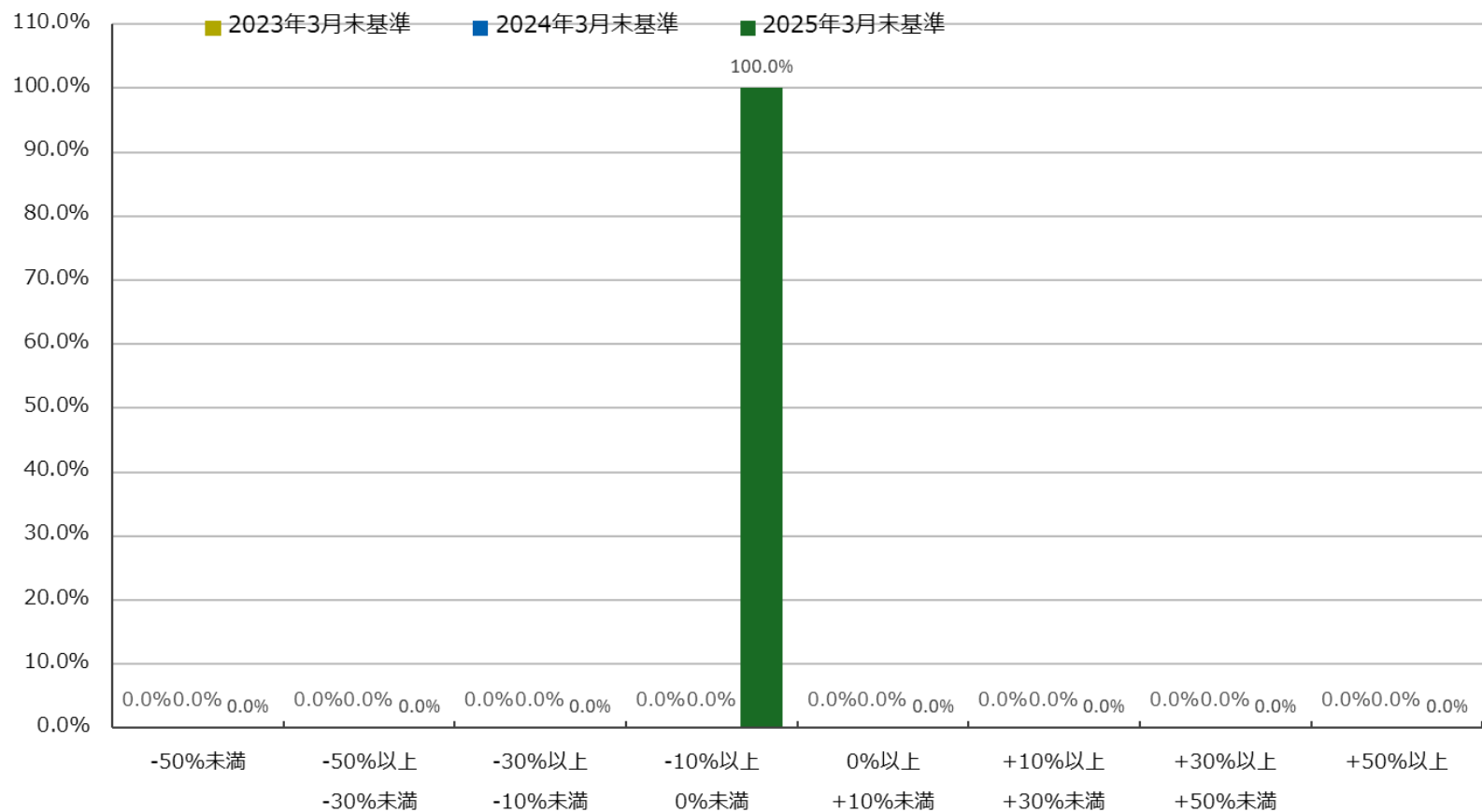
4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および(注)、原則6(注5)、原則7本文および(注)】

- 組合員・利用者の満足の向上を図るため、職員の資格取得の推進、研修指導を通じて、堅確な事務を行う人材を育成し、組合員・利用者本位の業務運営を実現するための態勢を構築します。
- また、組合員・利用者の皆さまからいただいた「声（お問い合わせ・ご相談、ご要望、苦情など）」を誠実に受け止め、業務改善に取り組み、組合員・利用者の皆さまに対して、最良・最適な金融商品、共済仕組み・サービスを提供できるよう、継続的に職員育成を行う態勢を構築します。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきましたが、2025年3月末時点では全体の100%のお客さまの損益がマイナスとなりました。

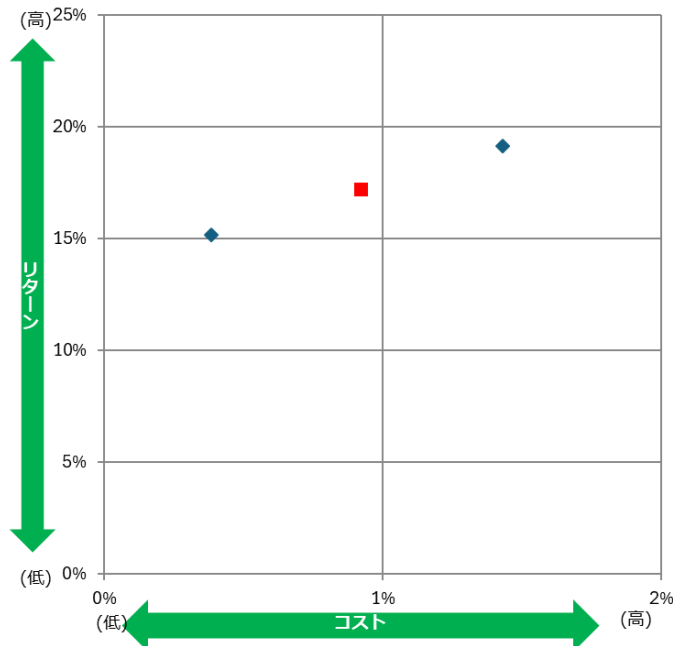


Ⅱ.比較可能な共通 K P I

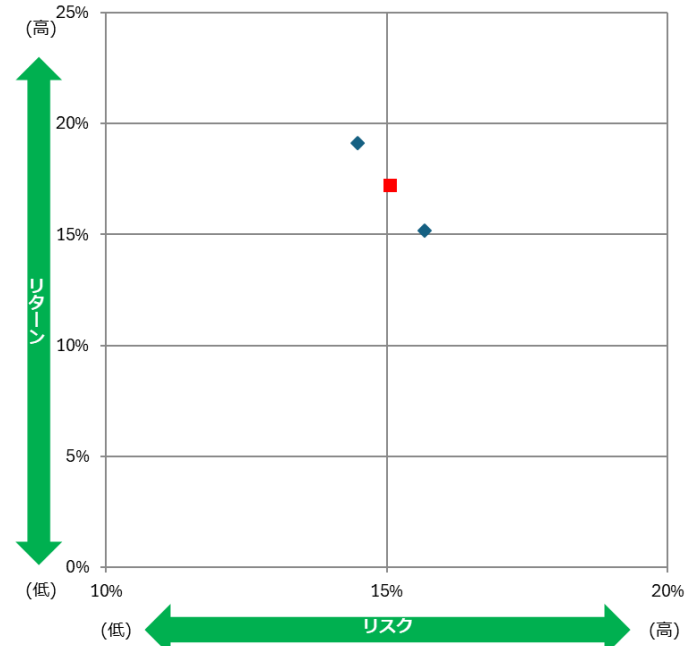
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2025年3月末）

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.92%、平均リスク15.06%に対して、平均リターンは17.22%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

(2025年3月末)

【預り残高上位20銘柄（設定後5年以上経過したもの）】

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	19.14%	14.48%	1.43%
2	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.19%	15.67%	0.39%
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		17.22%	15.06%	0.92%

※ 2025年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は2本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。